

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	財務部
	12018-1	庁舎建設基金積立事業	室名	契約管財室
	基本施策の大綱	06:行政経営	財	会計 一般会計
	基本施策	01:自立した行政経営の推進	務	款 諸支出金
	施策の方向	04:行財政改革の推進	科	項 基金費
戦略プロジェクト		目	目 庁舎建設基金費	

②目的・概要	対象	-
	目的	市庁舎の整備に伴う財源確保のため、15億円を目標に計画的な積み立てを実施するものである。
概要	亀山市基金条例において、庁舎建設基金の設置目的は、「庁舎の建設のための資金に充てるため」と規定されている。	

		27年度	28年度
①	名称	庁舎建設基金の積立額	
	補足	計画値 実績値 単位	50,000 千円
	名称	計画値	
②	補足	実績値 単位	
	名称	計画値	
	補足	実績値 単位	
③	名称	計画値	
	補足	実績値 単位	
	名称	計画値	
④	補足	実績値 単位	

年度計画				年度実績				
				50,000千円積み立て (財源 一般財源 47,471千円 利子相当額2,529千円)				
④事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	23	
		国庫支出金		50,000	50,000	一般職員人件費 ②	23	平均給与額×③
		県支出金				所要人員 ③	0.003	
		地方債				臨時職員人件費 ④		
		その他		2,529	2,529	受益者負担額 ⑤		
		一般財源		47,471	47,471	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額					
		総人件費				①	23	
		総コスト				⑥	50,023	

⑤事業の評価	【事業の成果】	基金利子相当額だけでなく、一般財源を含めた50,000千円を積み立て、平成27年度末現在高は10億円となり、市庁舎整備の財源確保目標に近づけることができた。	総合判定	A
	【反省点・課題】	厳しい財政状況が続いており、積み立てを継続することに財政面での課題がある。	順調に進んだ	
	【改善の方向性】	「亀山市基金活用指針」に基づき、庁舎建設の財政フレームの再検討を行うとともに、毎年度の財政状況を十分勘案し、可能な範囲内での積み立てを行う。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 契約管財室長 岡安 賢二	